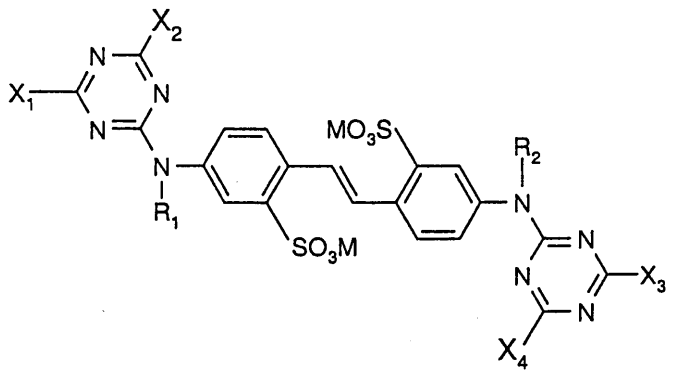
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公表番号】特表2005-517801(P2005-517801A)
【公表日】平成17年6月16日(2005.6.16)
【年通号数】公開・登録公報2005-023
【出願番号】特願2003-569764(P2003-569764)
【国際特許分類】
Ｃ１１Ｄ　3/42　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　57/00　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/386　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/395　(2006.01)
Ｄ０６Ｌ　1/12　(2006.01)
Ｄ０６Ｌ　3/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１１Ｄ　3/42
Ｃ０９Ｂ　57/00　Ｗ
Ｃ１１Ｄ　3/386
Ｃ１１Ｄ　3/395
Ｄ０６Ｌ　1/12
Ｄ０６Ｌ　3/02

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月15日(2006.2.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つの式（１）：
【化１】



(1)

［式中、
R_1及びR_2は、相互に独立に、水素又は非置換の若しくは置換されたC_1－C_8アルキルであり、
X_1、X_2、X_3及びX_4は、相互に独立に、－Ｎ（R_3）R_4又は－ＯR_5であり（ここで

、R_3及びR_4は、水素；シアノ；非置換であるか、又はヒドロキシ、カルボキシ、シアノ、－ＣＯＮＨ$_2$若しくはフェニルにより置換されたＣ$_1$－Ｃ$_8$アルキル、そしてＣ$_1$－Ｃ$_8$アルキル基は、中断されていないか、又は－Ｏ－により中断されており；非置換の又はＣ$_1$－Ｃ$_4$アルキル置換されたＣ$_5$－Ｃ$_7$シクロアルキルであるか；あるいはR_3及びR_4は、これらを連結している窒素原子と一緒に、非置換の又はＣ$_1$－Ｃ$_4$アルキル置換されたモルホリノ、ピペリジン又はピロリジン環を形成し；

R_5は、非置換であるか、又はヒドロキシにより置換されているＣ$_1$－Ｃ$_8$アルキルである）、そして

Ｍは、水素又はカチオンである］で示される化合物を含む洗剤組成物であり、洗剤は、過酸化物、過酸化物アクチベーター及び／又は漂白触媒を含む洗剤組成物。

【請求項２】

X_1、X_2、X_3及びX_4が、式：－Ｎ（R_3）R_4で示される基である、請求項１記載の組成物。

【請求項３】

X_1及びX_3が、アミノであり、

X_2及びX_4が、式：－Ｎ（R_3）R_4で示される基［ここで、R_3及びR_4は、水素；シアノ又は非置換であるか、又はヒドロキシ若しくはカルボキシにより置換されたＣ$_1$－Ｃ$_8$アルキル、そしてＣ$_1$－Ｃ$_8$アルキル基は、中断されていないか、又は－Ｏ－により中断されており；非置換の又はＣ$_1$－Ｃ$_4$アルキル置換されたシクロヘキシルであるか；あるいはR_3及びR_4は、これらを連結している窒素原子と一緒に、非置換の又はＣ$_1$－Ｃ$_4$アルキル置換されたモルホリノ、ピペリジン又はピロリジン環を形成する］であり、そして

Ｍが、水素、アルカリ－若しくはアルカリ土類－金属、又はアンモニウムであり、好ましくはナトリウムである、請求項１及び２のいずれか１項記載の組成物。

【請求項４】

R_3及びR_4が、これらを連結している窒素原子と一緒に、非置換の又はＣ$_1$－Ｃ$_4$アルキル置換されたモルホリノ、ピペリジン又はピロリジン環、好ましくはモルホリノ環を形成する、請求項３記載の組成物。

【請求項５】

ｉ）１～７０％のアニオン性界面活性剤及び／又は非イオン性界面活性剤；

ii）０～７５％のビルダー；

iii）０．５～３０％の過酸化物；

iv）０．５～１０％の過酸化物アクチベーター及び／又は０．１～２％の漂白触媒；

ｖ）０．００１～５％の式（１）の化合物；並びに

vi）０～５％の、セルラーゼ、プロテアーゼ、アミラーゼ及びリパーゼよりなる群から選択される、少なくとも１種の酵素

を含む、請求項１～４のいずれか１項記載の組成物。

【請求項６】

ｉ）５～７０％のアニオン性界面活性剤及び／又は非イオン性界面活性剤；

ii）５～７０％のビルダー；

iii）０．５～３０％の過酸化物；

iv）０．５～１０％の過酸化物アクチベーター及び／又は０．１～２％の漂白触媒；

ｖ）０．０１～５％の式（１）の化合物；並びに

vi）０．０５～５％の、セルラーゼ、プロテアーゼ、アミラーゼ及びリパーゼよりなる群から選択される、少なくとも１種の酵素

を含む、請求項１～５のいずれか１項記載の組成物。

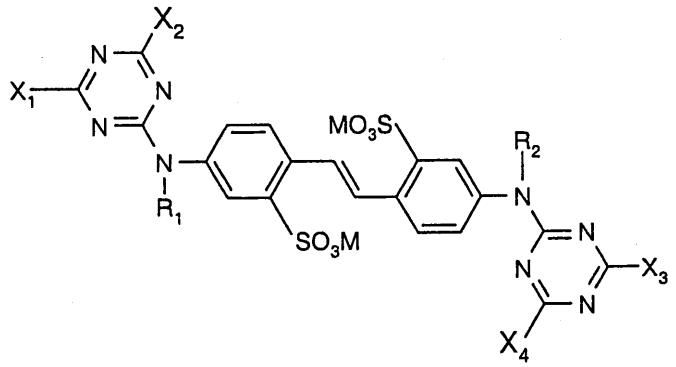
【請求項７】

セルラーゼ、プロテアーゼ、アミラーゼ及びリパーゼよりなる群から選択される、少なくとも１種の酵素を含む、請求項１～６のいずれか１項記載の組成物。

【請求項８】

酵素がプロテアーゼ酵素である、請求項７記載の組成物。

【請求項９】
過酸化物を含む、請求項１～８のいずれか１項記載の組成物。
【請求項１０】
過酸化物及び過酸化物アクチベーターを含む、請求項１～９のいずれか１項記載の組成物。
【請求項１１】
過酸化物アクチベーターがＴＡＥＤである、請求項１０記載の組成物。
【請求項１２】
繊維材料の家庭内洗濯処理の方法であって、繊維材料を、式（１）：
【化２】



(1)

［式中、
R_1及びR_2は、相互に独立に、水素又は非置換の若しくは置換されたC_1－C_8アルキルであり、
X_1、X_2、X_3及びX_4は、相互に独立に、－Ｎ（R_3）R_4又は－OR_5であり（ここで、R_3及びR_4は、水素；シアノ；非置換であるか、又はヒドロキシ、カルボキシ、シアノ、－$CONH_2$若しくはフェニルにより置換されたC_1－C_8アルキル、そしてC_1－C_8アルキル基は、中断されていないか、又は－Ｏ－により中断されており；非置換の又はC_1－C_4アルキル置換されたC_5－C_7シクロアルキルであるか；あるいはR_3及びR_4は、これらを連結している窒素原子と一緒に、非置換の又はC_1－C_4アルキル置換されたモルホリノ、ピペリジン又はピロリジン環を形成し；
R_5は、非置換であるか、又はヒドロキシにより置換されているC_1－C_8アルキルである）、そして
Ｍは、水素又はカチオンである］で示される化合物を含む洗剤の水溶液と接触させる方法であり、洗剤は、過酸化物、過酸化物アクチベーター及び／又は漂白触媒を含み、溶液の温度は、本プロセスをとおして５℃と４０℃の間、好ましくは５℃と３０℃の間である方法。
【請求項１３】
X_1、X_2、X_3及びX_4が、式：－Ｎ（R_3）R_4で示される基である、請求項１２記載の方法。
【請求項１４】
X_1及びX_3が、アミノであり、
X_2及びX_4が、式：－Ｎ（R_3）R_4で示される基［ここで、R_3及びR_4は、水素；シアノ又は非置換であるか、又はヒドロキシ若しくはカルボキシにより置換されたC_1－C_8アルキル、そしてC_1－C_8アルキル基は、中断されていないか、又は－Ｏ－により中断されており；非置換の又はC_1－C_4アルキル置換されたシクロヘキシルであるか；あるいはR_3及びR_4は、これらを連結している窒素原子と一緒に、非置換の又はC_1－C_4アルキル置換されたモルホリノ、ピペリジン又はピロリジン環を形成する］であり、そして
Ｍが、水素、アルカリ－若しくはアルカリ土類－金属、又はアンモニウムであり、好ま

しくはナトリウムである、請求項１２及び１３のいずれか１項記載の方法。
【請求項１５】
R_3及びR_4が、これらを連結している窒素原子と一緒に、非置換の又はC_1－C_4アルキル置換されたモルホリノ、ピペリジン又はピロリジン環、好ましくはモルホリノ環を形成する、請求項１４記載の方法。
【請求項１６】
繊維材料を、繊維材料の重量に基づき０．０５～３．０重量％の式（１）の化合物で処理する、請求項１２～１５のいずれか１項記載の方法。
【請求項１７】
洗剤が、セルラーゼ、プロテアーゼ、アミラーゼ及びリパーゼよりなる群から選択される、少なくとも１種の酵素を含む、請求項１２～１６のいずれか１項記載の方法。
【請求項１８】
酵素がプロテアーゼ酵素である、請求項１７記載の方法。
【請求項１９】
洗剤が過酸化物を含む、請求項１２～１８のいずれか１項記載の方法。
【請求項２０】
洗剤が過酸化物及び過酸化物アクチベーターを含む、請求項１２～１９のいずれか１項記載の方法。
【請求項２１】
過酸化物アクチベーターがＴＡＥＤである、請求項２０記載の方法。